

指定管理者モニタリング評価シート

施設所管課名

建設部公園緑地課

1 施設概要

施設名称	追浜公園、夏島都市緑地、夏島グラウンド
指定管理者名	シティサポートよこすか・横浜DeNAベイスターズ共同事業体
指定期間	令和4年(2022年)4月1日～令和9年(2027年)3月31日(5年間)
評価対象期間	令和7年(2025年)4月1日～令和8年(2026年)3月31日

2 総合評価

プロ野球公式戦や各種大会が開催されるなか、施設や設備の維持管理・点検が計画的に実施され、良好なコンディションが維持されていたこと、また現場での迅速な対応も適切に行われていた点が評価できる。 収支状況では、人件費や光熱水料費の増加があったものの、修繕費の増加を軽減するために修繕作業を担う即応班人員を1名増加するほか、勤務時間の調整による社会保険料等人件費の圧縮など、経費削減に向けた工夫と努力が見受けられ、改善策がとられている。結果として赤字額の抑制に努めている。 引き続き、豊富な管理経験から得られたノウハウを活かし、適切な管理運営を行うことで、スポーツ振興のみならず、地域経済の振興に寄与する集客施設としての役割にも期待したい。さらなるスポーツ人口の拡大や地域コミュニティの活性化に寄与することを期待する。
--

3 管理実績評価

評価項目	評価内容	施設所管課評価	
		評価	特記事項
法令遵守	○関連する法令、条例等を遵守して業務が行われているか。	B	
	○個人情報の保護措置や情報公開制度の適正な運用が確保されているか。	B	
施設管理(共通)	○条例や協定書等に基づき、開館日・開館時間等を遵守しているか。	B	
	○条例や協定書等に基づき、適正な申請受付業務・使用許可業務が行われているか。	B	
	○条例や協定書等に基づき、使用料又は利用料金に係る手続が適正に行われているか。	B	
	○協定書等に基づき、施設及び設備の保守点検等が適切に行われているか。	B	
	○協定書等に基づき、施設の清掃業務が適切に行われているか。	B	
	○協定書等に基づき、施設の警備業務が適切に行われているか。	B	
	○協定書等に基づき、物品の管理が適切に行われているか。	B	
	○協定書等に基づき、施設等の修繕業務が適切に行われているか。	B	
	○協定書等に基づき、事業報告書等の書類が期限までに提出されているか。	B	
	○施設管理を行う中で生じた施設課題に適切に対応しているか。	B	
利用者への配慮	○利用者間のトラブルや不適切な施設利用者への対応が適切に行われているか。	B	
	○利用者からの意見を聴取し、業務改善に活用しているか。	B	
リスクへの対応	○事故や災害などの不測の事態への対応策が講じられているか。	B	
	○事故や災害などの発生時には、必要な措置を講じるとともに、速やかに市への報告がされているか。	B	

障害者、男女共同参画及び多様な性への配慮	○障害者の雇用や障害者就労施設等からの物品購入などの障害者への配慮がされているか。	B	
	○性別による差別のない雇用やワークライフバランスの実現に向けた取組など男女共同参画への配慮がされているか。	B	
	○多様な性に関する差別やハラスメントの禁止に関する内規の整備や多様な性に関する研修の受講、多様な性も考慮した福利厚生を提供、顧客や取引先など外部に向けた環境整備やサービスの取組など多様な性への配慮がされているか。	B	
地域貢献	○地元人材の雇用が行われているか。	B	
	○市内中小企業等への発注が行われているか。	B	
	○市内の団体・施設・企業等との連携が行われているか。	B	地域交流の一環として、社会科見学や職場体験の受け入れを積極的に行っている。
	○その他の地域貢献が行われているか。	B	横浜DeNAベイスターズ、追浜地域協会主催のイベントに参加するなど地域活性化に取り組んでいる。
障害者雇用※ ※ 雇用義務のある団体(従業員を40人以上雇用している団体)のみ評価	○障害者雇用率が法定雇用率(2.5%)を達成しているか。	B	
人員体制	○必要な人員が配置されているか。	B	
	○職員への研修等の人材育成は計画通りに実施されているか。	B	
	○人件費の設定は適切か。	B	
労働基準※ ※ 労働基準法上、作成又は届出義務のある団体のみ評価	○就業規則の労働基準監督署への届出がされているか。	B	
	○労働者に労働条件通知書を交付しているか。	B	
	○時間外・休日労働協定届(36協定届)の労働基準監督署への届出がされているか。	B	
	○社会保険や雇用保険に加入しているか。	B	
経費削減	○経費の削減の取組は行ったか。	B	
	○経費の削減分を活用して、市民サービスの向上などの取組を行ったか。	B	
施設の目的に即した総合運営	○利用者の安全確保、緊急時の救急対応など、運動施設の安全な運営管理や、利用者の視点に立った有料公園施設の運営管理について、ノウハウを有しているか。また、運動施設や競技ルールに精通した人材を確保しているか。	B	
	○地域や利用者と連携し、地域に開かれた事業・運営が企画・提案されているか。	B	
利用者への対応	○利用者、近隣住民の苦情・要望等へ真摯な対応が行われたか。	B	

	○迅速に問題解決が図られているか。	B	
施設の維持管理	○運動公園施設や遊具施設、休憩施設の安全性に十分な配慮を行い、長寿命化を視野にいった維持修繕を実行できているか。	B	
	○植栽管理に精通した人材を確保しているか。	B	
	○利用者が安心して施設を利用できるよう状況に合わせた防犯対策が講じられているか。	B	
スポーツの普及・振興	○野球場、サッカー場、庭球場、陸上競技場など多様な施設があることから、本市の運動施設の中心としてそれぞれの利用目的に合わせたスポーツの普及・振興を図れているか。	A	スポーツフェスタや野球教室を開催し、スポーツの楽しさを知ってもらう機会を設けている。
	○平日の利用促進や施設の活用について、設置目的に合わせた積極的な取り組みが提案されているか。	B	
施設の特性に応じた提案(追浜公園)	○横浜DeNAベイスターズの本拠地となっている横須賀スタジアム等を生かし、市のスポーツ拠点として地域及び市全体のスポーツを振興することができる事業が具体的に企画・提案されているか。 特に、追浜地区の活性や平日の利用促進、広報・PRについて、効果的な取り組みが見込まれるか。	A	現役の横浜DeNAベイスターズ1軍選手による野球教室を開催している。
施設の特性に応じた提案(夏島グラウンド)	○ドッグランの運営体制について、利用者が安心して使用できる環境を作れるか。また、利用者や管理人などがドッグランの利用や犬についての理解を深めることができる機会を提供できているか。	B	

評価	判定基準
A	協定書等※に定める水準を上回っている。
B	協定書等※に定める水準どおりである。
C	協定書等※に定める水準に達していない。

※協定書等…基本協定書、年度協定書、仕様書、募集(申請)要項及び事業計画書のことをいう。

4 収支状況評価

支出が当初計画より上回っており、人件費の増加に加え、熱中症対策のため、ナイター時間帯の利用が増えたことや、扇風機等の使用により電気使用量が増加したことから、光熱水料費増加の要因となった。また施設の老朽化による修繕の増加も要因の一つである。

一方で、修繕費増加を軽減するため、修繕作業を担う即応班の人員を1名増加するほか、勤務時間の調整による社会保険料等の人件費圧縮など、経費削減に向けた工夫と努力が見受けらるなど改善策がとられている。そのため、次年度は計画どおりの管理運営を期待したい。